

青少年の翼のあゆみ

平成 15 年	第 1 回	カナダ (29 名)、ニュージーランド (30 名)
平成 16 年	第 2 回	アメリカ (20 名)、イギリス (20 名)、オーストラリア (20 名)、カナダ (19 名)
平成 17 年	第 3 回	アメリカ (20 名)、イギリス (20 名)、オーストラリア (20 名)、ニュージーランド (20 名)
平成 18 年	第 4 回	アメリカ (25 名)、イギリス (25 名)、オーストラリア (25 名)、ニュージーランド (25 名)
平成 19 年	第 5 回	アメリカ (20 名)、イギリス (20 名)、オーストラリア (20 名)、カナダ (20 名)、ニュージーランド (20 名)
平成 20 年	第 6 回	アメリカ (19 名)、イギリス (20 名)、オーストラリア (20 名)、カナダ (20 名)、ニュージーランド (20 名)
平成 21 年	第 7 回	中止 (新型コロナウイルス感染拡大のため)
平成 22 年	第 8 回	アメリカ (20 名)、イギリス (20 名)、オーストラリア (20 名)、カナダ (20 名)、ニュージーランド (20 名)
平成 23 年	第 9 回	中止 (東日本大震災のため)
平成 24 年	第 10 回	アメリカ (20 名)、イギリス (20 名)、オーストラリア (20 名)、カナダ (20 名)、ニュージーランド (20 名)
平成 25 年	第 11 回	アメリカ (20 名)、イギリス (20 名)、オーストラリア (20 名)、カナダ (20 名)、ニュージーランド (20 名)
平成 26 年	第 12 回	アメリカ (20 名)、イギリス (20 名)、オーストラリア (19 名)、カナダ (20 名)、ニュージーランド (20 名)
平成 27 年	第 13 回	アメリカ (20 名)、イギリス (20 名)、オーストラリア (19 名)、カナダ (20 名)、ニュージーランド (20 名)
平成 28 年	第 14 回	アメリカ (20 名)、イギリス (20 名)、オーストラリア (20 名)、カナダ (20 名)、ニュージーランド (20 名)
平成 29 年	第 15 回	オーストラリア (20 名)、ニュージーランド (20 名)
平成 30 年	第 16 回	オーストラリア (20 名)、ニュージーランド (20 名)、イギリス (20 名)
令和元年	第 17 回	オーストラリア (20 名)、ニュージーランド (20 名)、イギリス (20 名)
令和 2 年	第 18 回	中止 (新型コロナウイルス感染拡大のため)
令和 3 年	第 19 回	中止 (新型コロナウイルス感染拡大のため)
令和 4 年	第 20 回	中止 (新型コロナウイルス感染拡大のため)

令和 5 年 1 月発行
 編集・発行：江戸川区文化共育部健全育成課
 〒132-8501 江戸川区中央 1-4-1
 電話：03-5662-1629



青少年の翼 20周年を迎えて

江戸川区「青少年の翼」事業は、令和4年で20周年を迎えました。平成15年の事業開始からこれまでに、延べ1,275名の中高生を海外に派遣してきました。

このたび、20周年を契機として、「20年後の翼」をテーマに、これまでの参加者に当時を振り返ってもらうとともに、青少年の翼がその後の自身にどのような影響を及ぼしたのか、その経験をどのように活かしているのかについて、アンケート形式で回答してもらいました。また、派遣当時中高生だった参加者の現在の様子についても、写真を交えて報告してもらいました。

この冊子は、青少年の翼を通して、参加者がどのような夢や目標を持つようになったか、その後どのように社会に羽ばたいていったのかを知っていただくために作成しました。お手に取っていただいた方に、少しでも青少年の翼の魅力や意義を感じていただければ、うれしく思います。

目次

1. 参加のきっかけと印象に残っているプログラム	2
2. 派遣後の変化と交流	3
3. 派遣後の活動の広がり	5
4. 語学学習の状況	6
5. 現在の状況	7
6. 派遣前後の変化	8
7. 「青少年の翼」事業の評価	9
8. 夢や目標	11
9. 「青少年の翼」のその後	13

アンケート調査の概要

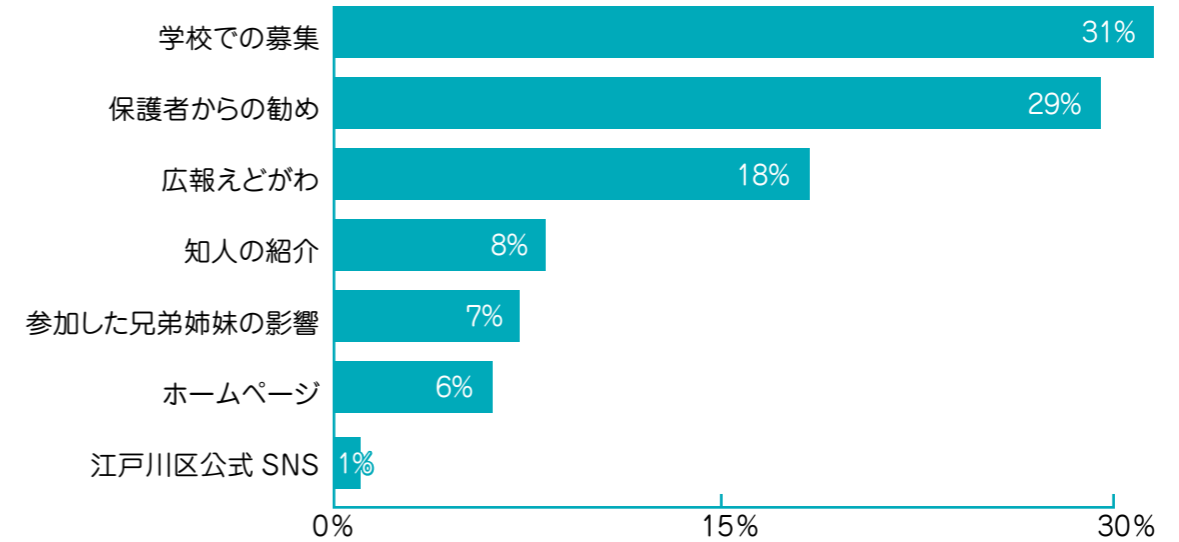
調査期間:2022年8月10日～10月20日

調査方法:区ホームページのメールフォームから回答

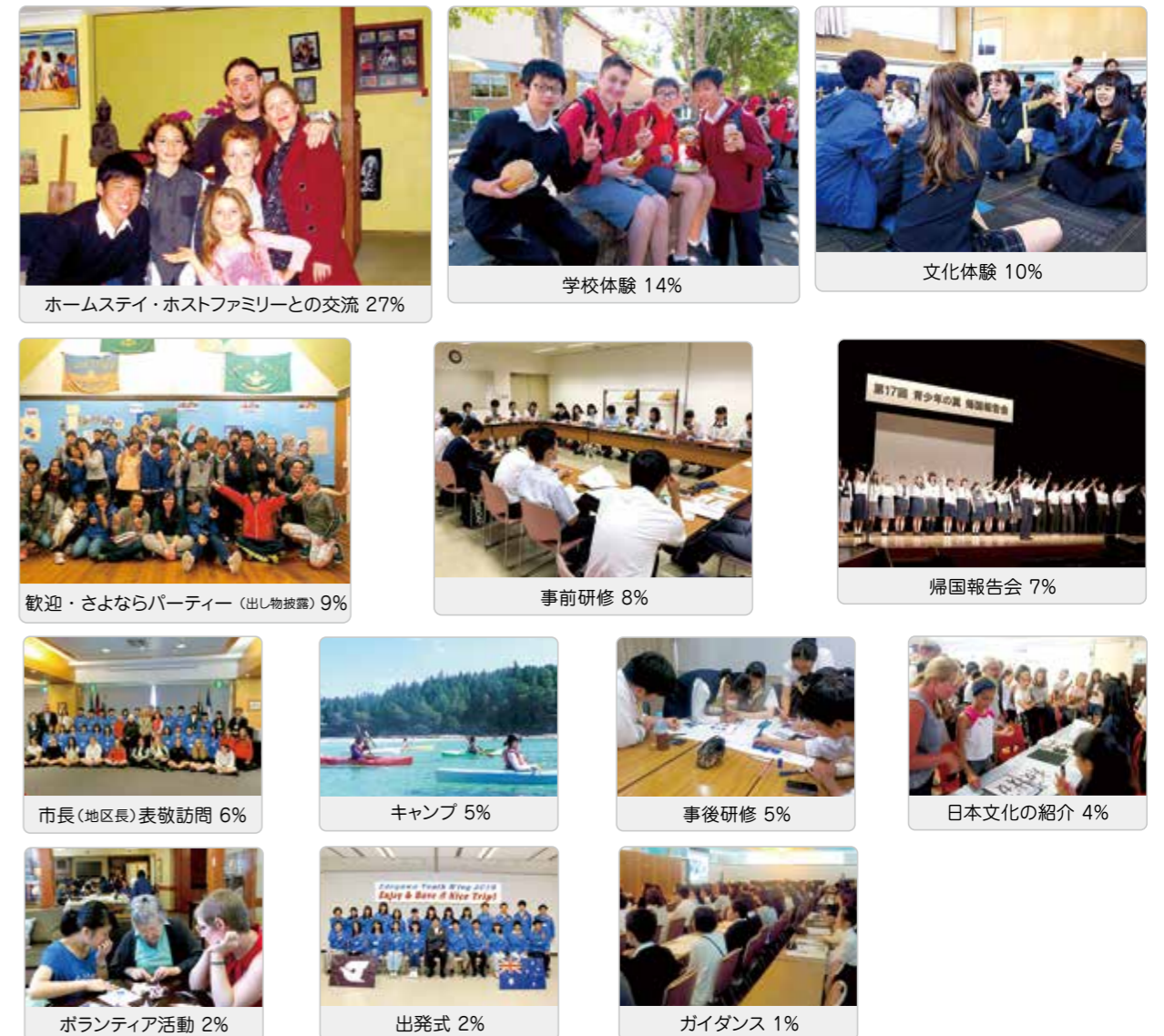
対象者数:1,275名 回答者数:255名 回答率:20%

1. 参加のきっかけと印象に残っているプログラム

『青少年の翼』に参加したきっかけは何ですか

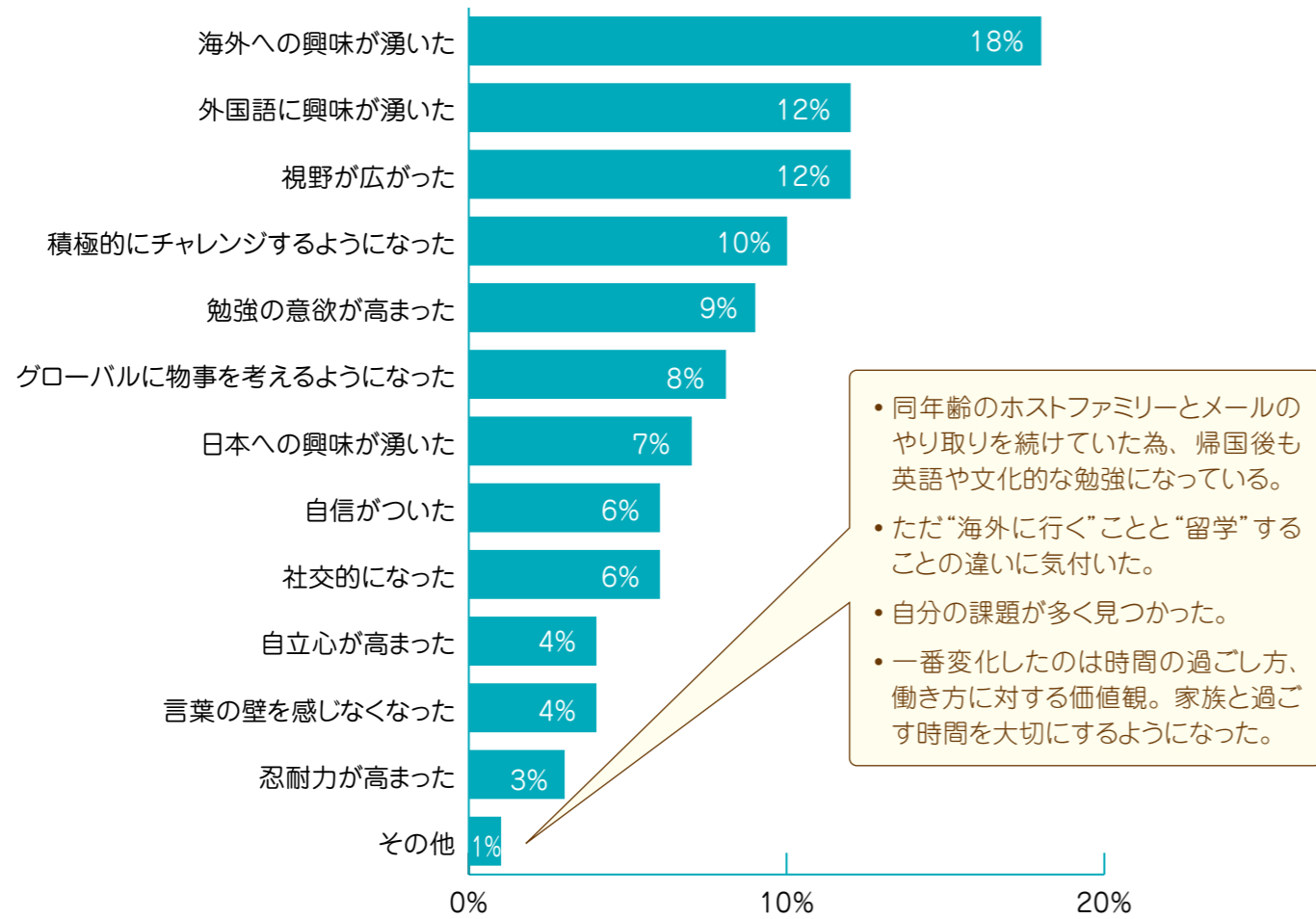


印象に残っているプログラムは何ですか



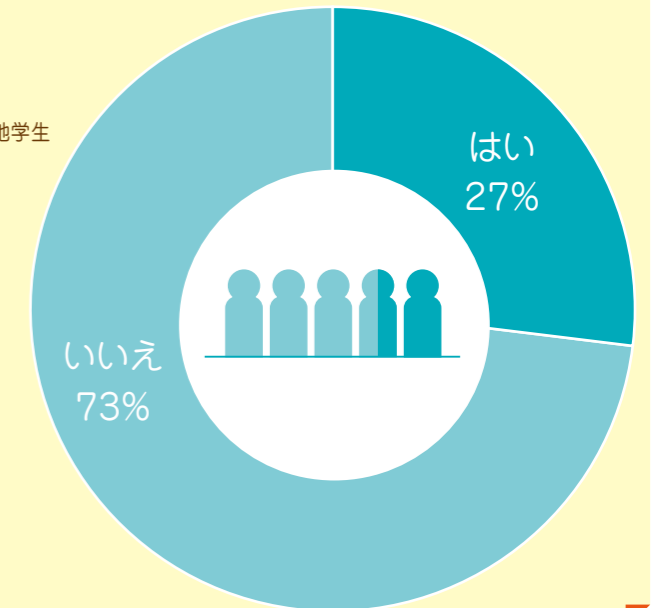
2. 派遣後の変化と交流

『青少年の翼』に参加して、変化したことは何ですか

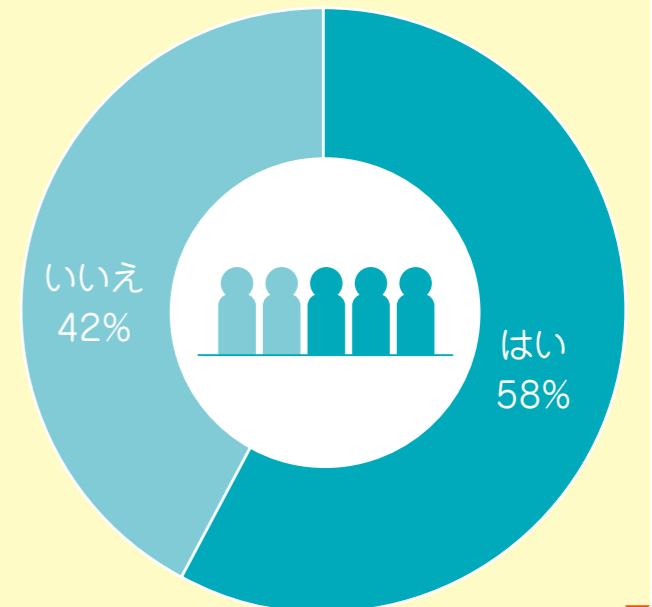


ホストファミリーやバディと現在も交流がありますか

※バディ：ホームステイ先、学校でペアになって一緒に過ごす同年代の現地学生

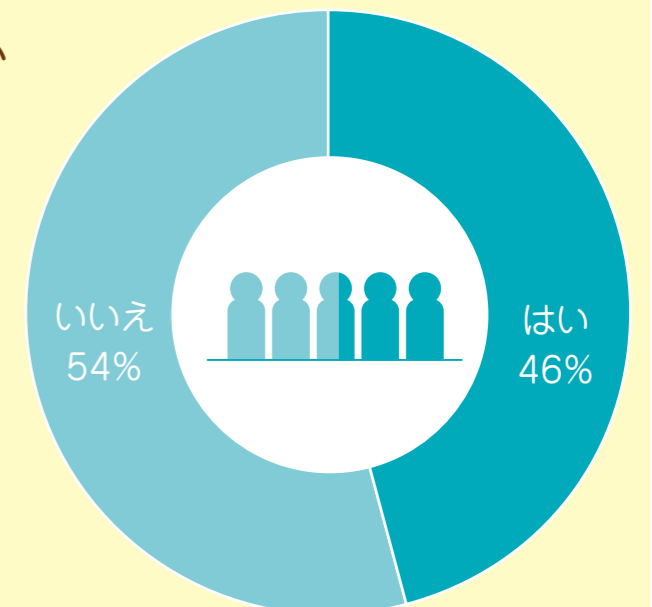


当時の参加者と現在も交流がありますか

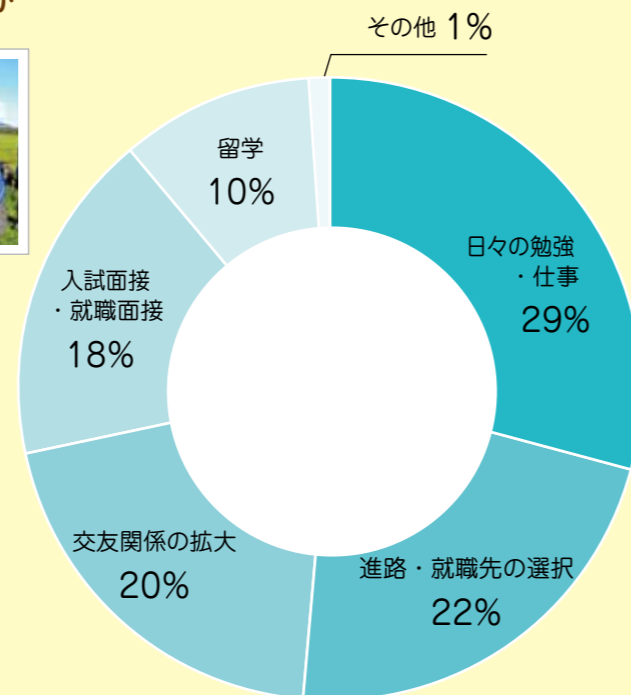


「翼の会」の活動に参加したことがありますか

※翼の会：「青少年の翼」に参加した団員のOB・OGで構成された団体



現地での経験をどんなことに活かしましたか



3. 派遣後の活動の広がり

ボランティア活動に参加したことがありますか

はい 31%

いいえ 69%

青年海外協力隊

東京2020大会での
オリンピックボランティア

災害復興
ボランティア

海外からの
ホームステイ
受け入れ

外国人向け
東京ガイド・通訳

小児病棟で
絵本の読み聞かせの
ボランティア

地域のまつりの
お手伝い

オーストラリアの中学校
で日本語を教える
ボランティア

高齢者施設で
食事補助やマッサージ
などのボランティア

外国人に日本語を
教える活動

中東の難民キャンプの
子どもたちに日本中から
集まった文房具やおもちゃを届けるボラン
ティア

難民キャンプで
人道支援

病院の待合室に
季節感を創出する
装飾ボランティア

ジュニアリーダー

翼の会の活動

タンザニアの教育支援
(現地で実際に幼稚園
の設備支援などを行う
ほか、日本での資金集
めやアフリカの情報発
信など幅広く活動)

街の清掃活動

目の不自由な子供への
読み聞かせや
学習支援

高校生の非営利団体
を作り、国際問題改
善を目的として講演会
や物販などで得られた
資金を寄付する活動

留学しましたか、または今後留学する予定はありますか

はい 36%

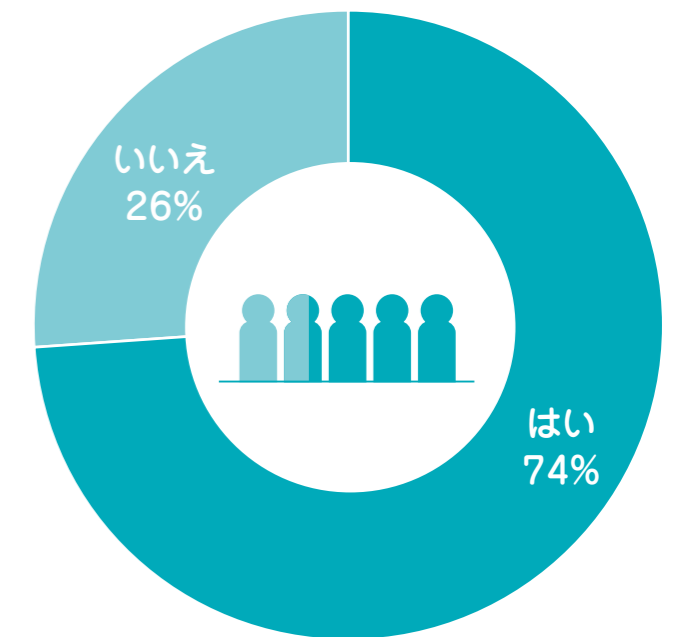
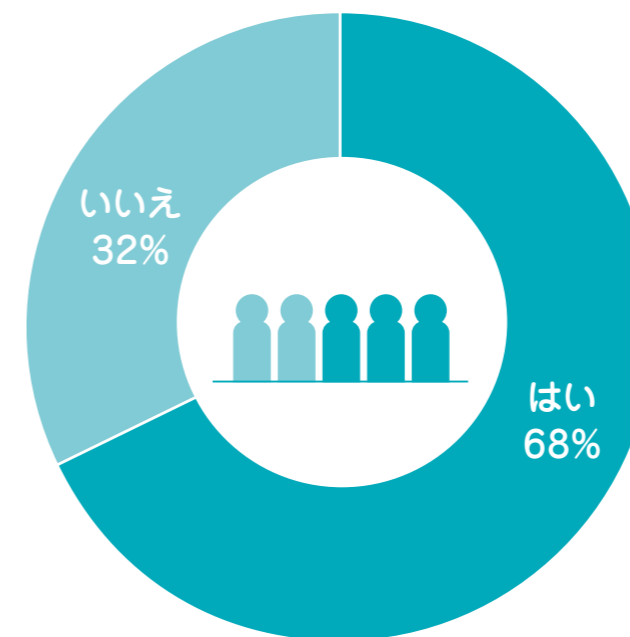
いいえ 64%



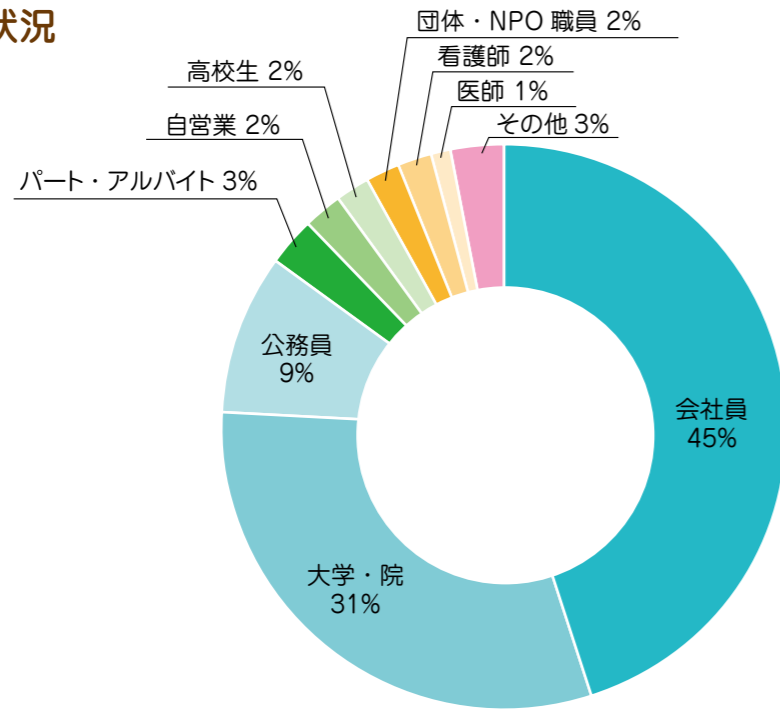
4. 語学学習の状況

現在も、仕事や学業で英語を学び続けて
いますか

英語以外の外国語を学んだことは
ありますか



5. 現在の状況



会社員

主な勤務先：IT企業、総合商社、鉄鋼商社、金融機関、不動産、損害保険、学習塾、食品メーカー、化粧品メーカー、電子機器メーカー、教育関連、製薬、外資系金融機関、外資系コンサルティング会社、外資系船会社、他

主な職種：海外営業、研究職、メーカー事務職、ITエンジニア、AIエンジニア、デザイナー、Webマーケター、データサイエンティスト、システムエンジニア、コンサルタント、旅客機パイロット、新幹線車掌、客室乗務員、航空会社グランドスタッフ、製薬会社MR職、ホテル調理職、海運オペレーター、大学事務職員、家電量販店販売員、会計士、建築士、保育士、歌舞伎役者、ラジオ局アナウンサー、人工衛星地上システム開発、半導体関連材料評価研究、土木施工管理、展示会運営業務、鉄道関連機器設計、他

大学・院

文学部、教育学部、経済学部、経営学部、法学部、商学部、工学部、心理学部、音楽学部、グローバル・リベラルアーツ学部、グローバル教養学部、国際交流学部英語コミュニケーション学科、法律学部法律学科、医学部医学科、看護学科、美術科、人文学科、日本文学科、工学部、航空操縦学専攻、機械工学専攻、国際学専攻、経営工学専攻、開発経済学専攻、日本文学

専攻、医科学専攻、歴史学専攻、タイ語専攻、コミュニケーション学専攻、文芸メディア専攻、言語学、英語音声学、事業構想学、人工知能関連研究、平和研究、アフリカ地域研究、ヘルスケア研究、医科学(循環器)分野の研究、看護専門学校、法科大学院、バイオテクノロジー、データサイエンス、社会環境工学科、都市計画・土木系、都市計画、建築、ホスピタリティ、他

公務員

小・中学校教諭、栄養士、市・区役所職員、東京都職員、文部科学省職員、他

パート・アルバイト

飲食・接客業、事務員、販売員、スイミングインストラクター、他

自営業

司会、ウェディングプランナー、インフルエンサー、俳優、エージェンシー業、マネージメント業、通訳案内士、他

団体・NPO職員

発展途上国支援、学校教育関連支援、他

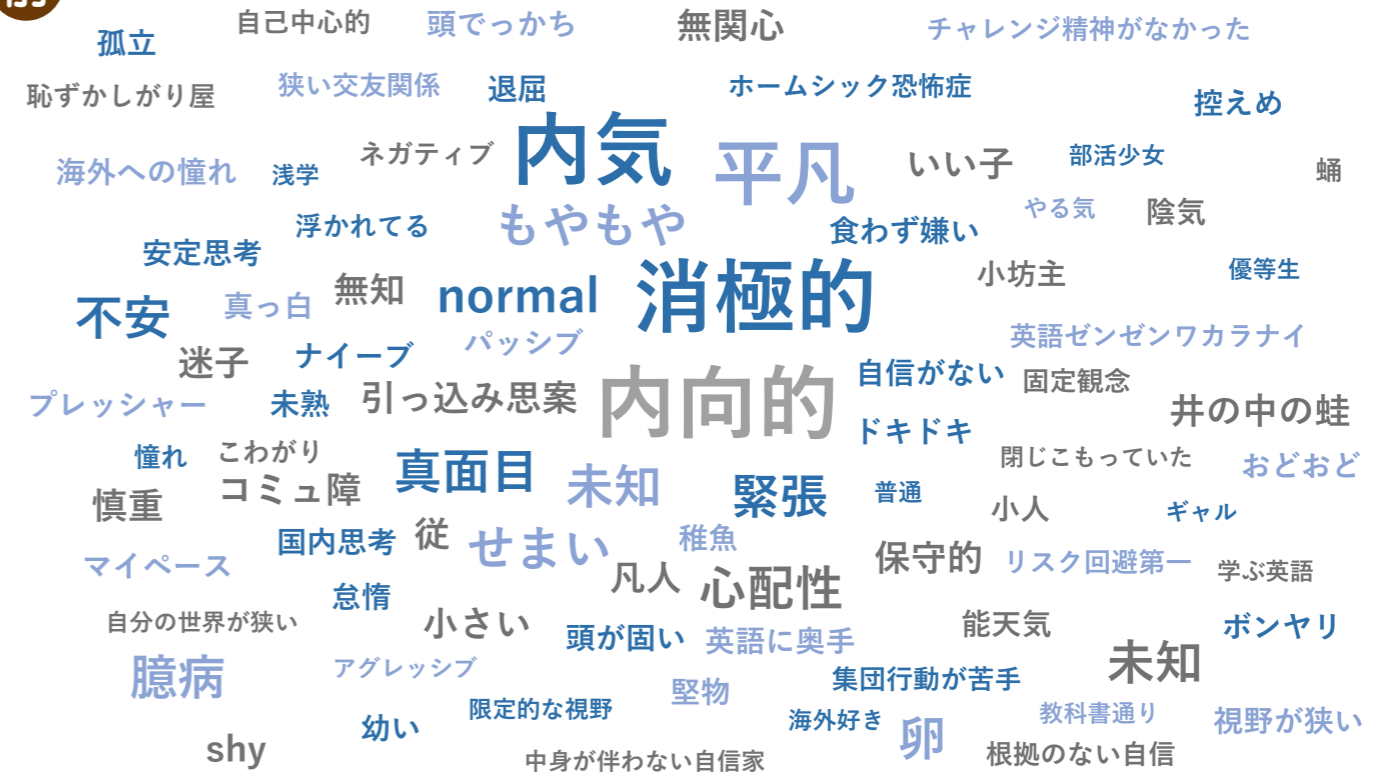
その他

アーティスト、デザイナー、薬剤師、臨床心理士、歯科衛生士、臨床工学技士、他

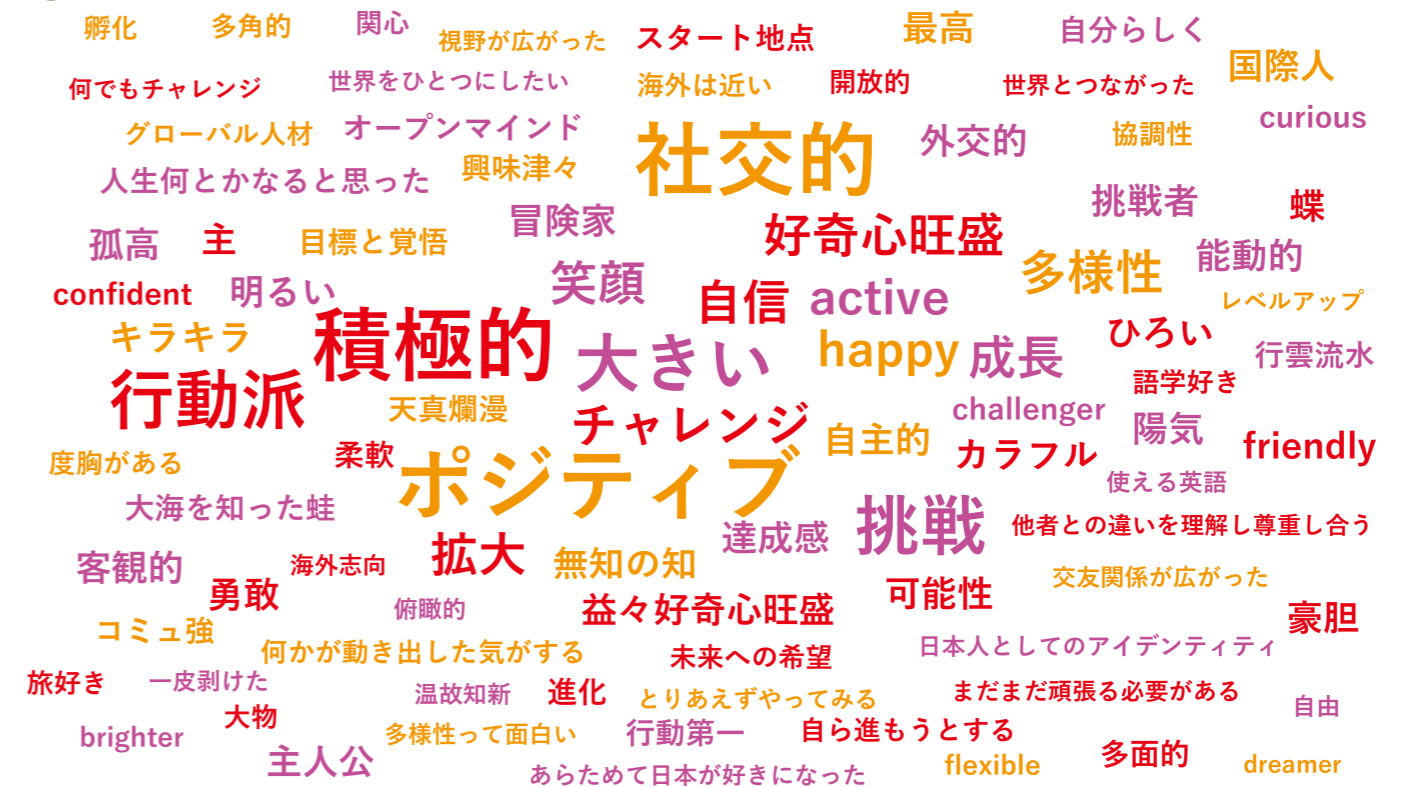
6. 派遣前後の変化

派遣前後の自分をひとことで表現してください

前



後



7. 「青少年の翼」事業の評価

青春の1ページ

人生を豊かにしてくれる経験

海外へ視野を向ける きっかけ

自己表現することを学んだ場

自分という存在を大きく成長させた忘れられない経験

自分の人生の中で上位にやって

よかったと思えるもの

日本を初めて外から見て、日本の良さも気づかせてくれた経験

世界は広いこと、多様性を教えてくれた事業

視野と人間関係を広げてくれた体験

外国及び外国語への見方を変えられるチャンス

青少年の翼OBとなった今でも関わり続けたいと思う素晴らしいプログラム

僕が 積極的になれた唯一の方法

海外に挑戦する最初のきっかけ

青少年に勇気や友情を与える事業

一生の思い出

自信や自己肯定感の向上に繋がった良い機会

Life Change Experience!

積極的に動くようになったきっかけ

今でも生きる原動力となる思い出

世界観を変えたもの

翼

参加したからこそ今がある

人生のターニングポイント

いろいろな国の文化に興味を持つきっかけ

実現したい夢を実現できた夢のような経験

海外を身近に感じ、グローバルな仕事に就くきっかけとなった存在

冒険

今の私の礎

自分を正の方向に大きく向けて

くれたもの

英語を勉強し続けるモチベーション

全ての中高生が手にするべきチャンス

自分を変えてくれた経験

原点

考え方が劇的に変わったきっかけ

自分の可能性に気づかせてくれた大切な機会

人の温かさ、文化の違いを教えてくれた事業

海外への一歩を踏み出させてくれた存在

諦めずに挑戦することで、自分がやりたかったことに手が届いた経験

初めての海外生活

何事にもチャレンジしようと思える機会を与えてくれたプログラム

宝物

視野や選択肢を広げるきっかけ

人と出会うことの大切さを知ったきっかけ

初めて何かを成し遂げたいと思ったきっかけ

自信をくれた体験

チャレンジと出会いの場

現実を肌で感じるための絶好の機会

挑戦

今の自分を直接創ってくれたプログラム

憧れるだけで挑戦

できなかった自分を変えた第一歩

かけがえのない仲間ができる旅

青春

新たな居場所や交流ができる ところ

一生忘れることのない素敵な思い出

自分の夢の実現に必要な点を示してくれ たもの

自分が将来グローバルな環境で働いてみたいと思えたきっかけ

10代の私が大きく成長できた場

海外を肌で感じられる体験

青少年の可能性をさらに広げる活動

海外への挑戦を後押ししてくれたところ

言語の壁が小さなものを感じた大切な経験

その後の人生を変えるすごく貴重な体験

世界へ飛び立つ ファーストステップ

学生時代、思春期時代に大きな挑戦をさせてくれる場

グローバルな視点をくれた大切なきっかけ

色々な考えを持った人たちが集まり共有しあえる大切な場

チャレンジの場

初めての冒険

世界との架け橋

自分の未熟さを感じさせられた機会

人生で最高の経験

狭い世界しか知らなかった当時の私に、日本以外の選択肢や世界を教えてくれた翼のような存在

自分の人生がいい方向に 動き出したきっかけ

次世代の若者が世界に羽ばたく機会を与えてくれる事業

新たな視点をくれたもの

なんでもとりあえずやってみようと思えるようになった前に入るきっかけ

とび込んでよかった経験

世界は広いけど自分が変われば近いと気付かせてもらえたきっかけ

中高生の間に人生における大切な経験をさせてくれた感謝すべき存在

自分で翼を身に着けて海外に行くことで羽ばたく ことができるプログラム

海外経験を積める稀なチャンス

8. 夢や目標

夢や目標を教えてください



9. 「青少年の翼」のその後



◀派遣当時

現在、ベネッセという会社に籍を置き、高校や大学に対しての事業企画の立案等を行っています。最近では日本に興味をもつ留日生に向けた支援プログラムを事業として検討するなど、当時、自分自身が体感したことを踏まえて、どういう留学のカタチがあると良いかを検討することができています。

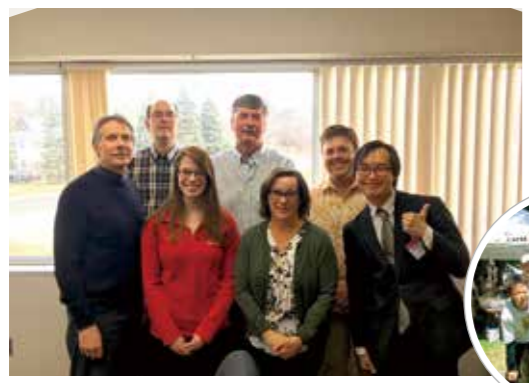
第1期ニュージーランド派遣団

当時のほぼ英語を話せない時代と比べ、その後はホストファミリー受入れや大学で英語を専攻、10か国以上一人で海外旅行をするなど、様々なことを体験しました。

日本や現地で海外の友達と再会もしました。現在コロナ禍、子育て中のため無縁ですが、今後も時間を作り交流や自己学習をしていきたいです。

第1期カナダ派遣団

派遣当時▶



◀派遣当時

現在は宇宙開発に携わっています。この分野は海外と協力するものばかりです。写真は人工衛星の搭載機器を調達するため、アメリカに出向していたときに取引先の方々と撮ったものです。青少年の翼で得た「飛び込む勇気」と「交流しようという気持ち」で、外国の方と働くことに臆せず挑戦できています。

第1期カナダ派遣団

夢だった薬剤師となり10年。現在は、育児に奮闘中。コロナ禍前は、大学時代に仲良くなったアメリカの薬剤師に日本を案内したり、メールでのやり取りをするなど交流しています。青少年の翼に参加できたからこそ、異文化を知る活動を続けられています。

第2期オーストラリア派遣団

派遣当時▶



◀派遣当時

役所の子育て支援関連の部署で勤務しており、主に就学前の乳幼児と保護者が利用できる『子育てひろば』に関する事務を担当しています。青少年の翼に参加し、コミュニケーションの大切さを学び、何事にも前向きに取り組む自信ができました。派遣経験が現在の仕事にも活きていると実感しています。

第2期オーストラリア派遣団

青少年の翼に参加したことで、自分の知らない世界へ飛び込む楽しさを知り、いつか海外で活躍したいという夢ができました。2017年に念願叶って青年海外協力隊(現:JICA海外協力隊)に合格し、ソロモン諸島に派遣され看護師隊員として2年間活動を行いました。

第3期ニュージーランド派遣団

派遣当時▶



◀派遣当時

高校2年生の時に青少年の翼を経験し、海外で働きたいという気持ちが強くなりました。博士号取得後、損害保険会社に就職し、シリコンバレー・イスラエルなどの海外スタートアップとの仕事に従事しました。現在は同社の社費派遣留学にてハワイ大学マノア校MBAで事業経営のトレーニングを積んでいます。

第3期イギリス派遣団

青少年の翼で本当の家族のように接してくれたホストファミリーと忘れられない2週間を過ごしてから10年以上が経ち、通訳案内士として同じオレゴン州からいらしたご家族をご案内する機会に恵まれました。たった一日でも大切な友だちのように精一杯おもてなしをし、東京を満喫していただけました。この仕事を通じて、日本の魅力を再確認しています。

第4期アメリカ派遣団

派遣当時▶



◀派遣当時



当時のメンバーと、15年経った今でも交流があります。SNSでの繋がりだけでなく、たまに集まっては、いまだに当時の話で盛り上がります。就職したり、子供ができたりしてもこのように集まれる友人を作れたことが、私にとっては一番の財産です。

第5期ニュージーランド派遣団

派遣後は海外に興味をもち、まずは英語をもっと身に付けたいと思い、英検に挑戦しました。試験官とのスピーキングテストは、青少年の翼で現地の方と沢山話した経験を生かすことができました。自信に繋がり、今では興味をもったことはとことん積極的に追求する性格になり、海外旅行が趣味になり世界観が広がりました。

第10期オーストラリア派遣団

◀派遣当時



イギリスのタピストックからの学生のホームステイを受け入れていた縁もあり、第12回イギリス派遣団では随行を務め、現在は仙台空港で航空管制官として働いています。写真は2016年、シミュレータを用いた研修の際のものです。

期待と不安に満ちあふれた翼の団員達を、過去は随行として引率する立場、そして今は場所を違えど飛び立つ翼を見送る立場として、見守っています。

第6期アメリカ派遣団

▶派遣当時



高校1年生で青少年の翼に参加後、“もっと留学したい”と思い翌年からUWCイギリス校に留学。その後はアメリカの大学に進学。学生時代はニュージーランド団の随行を4度務め、江戸川区やニュージーランドとの親睦を深めました。卒業後は国内化粧品会社に就職。福岡でデパート事業の営業担当を1年半務めた後、現在は東京で営業サポートの業務を担当しています。

第10期ニュージーランド派遣団

▶派遣当時



青少年の翼で乗った飛行機。今では航空会社の営業として、飛行機の座席を販売することが私の仕事です。

当時Thank youを英語で書けなかった私が、参加後は「将来英語を使える仕事に就きたい」と思いました。今では仕事柄毎日英語を使っています。青少年の翼は、私にとって人生を変えたターニングポイントです。

第8期カナダ派遣団

◀派遣当時



現在私は都内の小学校で支援員として働いています。児童の生活面の支援や、学習環境を整えるお手伝いをしています。海外からの転入児童の学校生活へのサポートに入り、英語を使用しているコミュニケーションを行うこともあります。児童の笑顔と成長に関わることのできるこの仕事を誇りに思っています。

第13期カナダ派遣団

◀派遣当時



私が青少年の翼に参加したのは、進路に悩んでいた高校3年生の時でした。現在は携帯販売の仕事の一環で、スマホの使い方を教える講師もしています。状況に合わせて分かりやすい説明をする事が求められていますが、「自信を持って自分の言葉で伝える事」の大切さは、参加したからこそ実感できました。

第10期オーストラリア派遣団

▶派遣当時



CQ DE JJ10TK!! #アマチュア無線 を知っていますか？ 私はアンテナを作ったり電波が飛びやすい山の上などに無線機を持っていたりして海外と交信を楽しんでいます。青少年の翼で海外の方たちに触れ、より交流する面白さを感じました。

第14期カナダ派遣団

▶派遣当時





青少年の翼で、英語は文化圏や人と繋がるツールであると痛感し、視野が広がりました。現在は英語教師を目指し、大学で英文学と教育学を専攻しています。3年次にはニューヨーク州の大学へ留学し、外国にルーツを持つ子供たちへの教育について学びました。青少年の翼で培った経験が今でも生きています。

第14期アメリカ派遣団

◀派遣当時



私は、大学進学を機に東北へ移住し、学問に励みながら楽天生命パークでビールの売り子をしています。15kgの樽を背負い、どんな日もお客様のために1杯1杯大切にビールを注いでいます。過酷な仕事ですが、売り子の世界に飛び込む挑戦心、諦めず精進し続ける粘り強さは、青少年の翼があったからです。

第17期イギリス派遣団

◀派遣当時

私は現在、大学三年生で青少年の翼で海外に触れた経験を生かして、TOEICなどの英語の資格の勉強や、大学のボランティア団体に所属して現地に赴き活動したり、世界情勢について議論する団体に入ったりと、毎日英語に囲まれた生活を送っています。また、就職活動が本格化して行くにつれ、将来、やりたい事を実現できる人になりたいと思っています。

第15期ニュージーランド派遣団

▶派遣当時



私は今高校三年生になり、青少年の翼で得たコミュニケーション力などを学校生活の様々な場面で活用してきました。現在私は、夢である航空整備士を目指して日々勉強に励んでいます。私の目指す職業は青少年の翼で得たスキルが全て活かせる職業なのでこれからもこの力を強みにして夢を叶えたいです。

第17期ニュージーランド派遣団

▶派遣当時



青少年の翼事業を通して、私が得た宝物の一つは友達です。国際学部や文学部、薬学部とバラバラな道を歩んでいますが、今でも定期的に集まって、近況や将来についての話をしています。海外派遣でも多くの挑戦をしましたが、自分の人生においても挑戦は大切です。皆の挑戦を聞けるこの会はとても楽しく、良い刺激です。

第15期ニュージーランド派遣団

◀派遣当時



大学のプログラムで3週間イギリスのヨークに滞在し、現地の文化や食事を体験し様々な人と交流しました。レストランや雑貨店では店員さんとの小話、ホームステイ先の家族には1日にあった出来事や感情を伝えることを大事にしました。青少年の翼の一員としてのニュージーランドへの派遣で学んだ、会話を紡ぐことの大切さを意識し英語を楽しむことができました。

第17期ニュージーランド派遣団

◀派遣当時

中学2年生のイギリス派遣でそれまでの人生で触れたことのなかった多様性に感化され、国際的なことに興味を持ちました。それをきっかけに高校2年生から1年間アメリカ留学をし、現地で好きな陸上を通して良い仲間に出会えました。写真はチーム引退時にポスターを作ってもらったときのもので

第16期イギリス派遣団

▶派遣当時

